

東海技術サロン

2023年度のサロンは終了いたしました。多くのご参加ありがとうございました。

化学技術に関連した興味深いテーマを取り上げて、講演会を開催しています。

参加をご希望される方は、[申込フォーム](#)からお申し込みください。

または、[中部科学技術センターHP](#)よりお申込ください。

PDF

2023年度案内



第124回東海技術サロン (CSTCフォーラム)

世界がカーボンニュートラルの実現に向けた動きを活発化する中で、自動車産業では100年に一度の事業構造の変革が求められており、CASE、電動化、車載二次電池のグローバル競争が激化しています。またエネルギーインフラ産業においても脱炭素エネルギーとして期待される水素・アンモニアサプライチェーン構築やカーボンリサイクルが進められています。本セミナーでは、各国のxEV分解解析からみる化学技術に求められる電動化システムの性能や、全固体電池を含む電池産業の事業競争力、ならびにクリーンエネルギーによる社会、産業構造転換の実情について、本領域に造詣の深い講師をお迎えし議論を展開頂きます。

●日 時：令和5年8月28日(月) 14:30-17:00

●場 所：オンライン開催 (Zoomを使用)

●主 催：東海化学工業会、公益財団法人 中部科学技術センター、公益社団法人 化学工学会
東海支部

☆☆☆プログラム☆☆☆

14:30 開会 挨拶 東海化学工業会 (会長：佐田 幸司 (中部電力))

14:35 講演1 「2030年に向けた電動車両 (xEV) ロードマップとそこに求められる車載用化学応用技術要素 ～e-Axleの化合物半導体の適用からインホイールモーター技術最前線まで～」
名古屋大学 未来材料・システム研究所／名古屋大学大学院 工学研究科 電気工学専攻 教授 山本 真義 氏

15:15 講演2 「経済安全保障としての車載電池における事業競争力と日本の課題」
名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授／エスベック (株) 上席顧問／イリソ 電子工業 (株) 社外取締役 佐藤 登 氏

15:55 休憩

16:15 講演3 「カーボンニュートラル実現にむけたIHIグループの取り組み」
株式会社IHI 中部支社 第二営業部長 戸田 正雄 氏

16：55 閉会 挨拶 公益財団法人中部科学技術センター（専務理事：武藤陽一）

定員：80名（締切：8月21日（月）、ただし、定員になり次第締切ります）

参加費 東海化学工業会・主催・共催団体の個人・法人会員・学生： **1,500円**

非会員： **4,000円**

（いずれかの方法で「東海化学工業会」へお支払いください。）

申込口座：1 銀行振込 [三菱 UFJ 銀行 名古屋営業部 (普) 0662250]

2 郵便振替 [00810-3-11433]

振込先口座名義 東海化学工業会（トウカイカガ` クコウキ` ヨウカイ）

申込方法： 右記の申込みフォームよりお申込みください。

[申込みフォーム](#)

または、以下の必要事項を明記の上、メールでtcia@cstc.or.jpあて、お申し込みください。

必要事項： 氏名、勤務先及び所属(役職)又は学校名、連絡先(E-mail、電話)、会員／非会員の別

問い合わせ先：東海化学工業会（事務局担当：竹村） tcia@cstc.or.jp TEL:052-231-3070

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7F 中部科学技術センター

内

東海技術サロン講演一覧（～2022年度）

題目	講演者
「カーボンニュートラルに貢献するサブナノセラミック膜—CO2分離を中心に—」	酒井 均氏（日本ガイシ）
「温度スイング吸着法を用いたガス精製技術」	飛弾野 龍也氏（大陽日酸）
「燃焼排ガス、および大気中からのCO2吸着分離：プロセス開発と経済性評価」	川尻 善章 氏（名古屋大学）
「有機無機複合化による植物色素の安定化・高機能化」	柴田 雅史氏（東京工科大学）
「メイクアップ化粧料の摩擦特性と使用感」	野々村 美宗氏（山形大学）
「機能性有機色素」	窪田 裕大氏（岐阜大学）
「航空機電動化のための軽量固体酸化物形燃料電池（SOFC）用材料の開発の取り組み」	橋本 真一氏（中部大大学院）
「小型モビリティ向けポータブル固体酸化物形燃料電池（SOFC）の開発」	鷺見 裕史氏（産総研中部センター）
「デンソーでのSOFC開発に関する取り組み」	杉原 真一氏（デンソー）
「文化財の保存修復現場における化学—高分子材料の利用を中心に—」	早川典子氏（国立文化財機構）
「城下町—乗谷の変遷と遺跡保存」	宮永—美氏（福井県立—乗谷朝倉氏遺跡資料館）

「正倉院宝物の保存修復と化学」	中村力也氏（宮内庁正倉院事務所）
「金属積層造形技術の最近の研究開発動向とその応用」	千葉 晶彦氏（東北大金研）
「未来を拓く金属積層技術開発のご紹介 ～ものづくり大 国日本の復活～」	小松 伸弘氏（日本積層造形(株)）
「レーザーを用いたセラミックスの短時間焼結技術 ～セラ ミックス3Dプリンターの実現にむけて～」	木村 禎一氏（ファインセラミック センター）
「効率的なMg, Liの熔融塩電解にむけて」	竹中 俊英氏（関西大工）
「イオン液体の電気化学デバイスへの応用」	萩原 理加氏（京大院エネ）
「再生医療の産業化ー自家培養製品の開発」	大須賀俊裕氏（ジャパン・ティッシ ュ・エンジニアリング）
「高度管理医療機器としてのコンタクトレンズ」	長谷川大貴氏（メニコン）
「生分解性マグネシウムを用いた医療デバイスの開発」	内田広夫氏（名大院医）
「ホロニック・パス-科学技術発展の方向を考えるー」	野田三喜男氏（愛教大）
「静岡県の地震対策300日アクションプログラム」	渡辺晃男氏（静岡県防災局）
「食と健康・老化」	並木満夫氏（名大名誉教授）
「味覚・嗅覚情報の定量化にせまるー吟醸酒を例として」	小林 猛氏（名大院工）
「アメリカの企業風土ー日本と比較して」	飯久保祐一氏（Great Lakes Chemical Corp.）
「誰でもできる発明・発見、とても易しい発明・発見」	宇田成徳氏（広島県技術アドバイザ ー）
「人生の勤どころ」	松原敬生氏（東海ラジオ）
「長寿を目指す健康支援ー新たな研究と戦略」	下方浩史氏（国立長寿医療研）
「お茶の化学成分とその機能性」	富田 勲氏（静岡産大）
「基礎からわかる光触媒のはなしー21世紀を拓く環境技術 ー」	埴田博史氏（産総研）
「らせん高分子のナノ構造制御の魅力」	岡本佳男氏（名大院工）
「窒化物半導体の研究と青色発光デバイスの創出」	赤崎 勇氏（名城大学）
「青色発光ダイオードの開発・実用化」	太田光一氏（豊田合成）
「カーボン・ナノテクノロジーの現状と将来」	篠原久典氏（名古屋大学）
「カーボンナノチューブのディスプレイデバイスへの実用化 技術の研究開発」	上村佐四郎氏（ノリタケ伊勢電子）
「携帯機器用燃料電池技術の現状と未来」	山口猛央氏（東京大学大学院）
「自動車用燃料電池技術の現状と課題」	森本 友氏（(株)豊田中央研究所）
「メイクアップ化粧品における粉体技術の応用」	鈴木高広氏（ロレアル化粧品(株)）
「機能性食品の研究・開発-セサミンを中心にして-」	小野佳子氏（サントリー(株)）
「ナノ空間材料の自動車排ガスへの応用：HC Trapとス ス燃焼触媒」	大久保達也氏（東京大学）

「エネルギーの大規模削減を可能とする規則性多孔体薄膜技術の展望」	松方正彦氏 (早稲田大学)
「アルツハイマー薬の開発」	杉本八郎氏 (京都大学)
「最新乳化・分散微粒化装置 T. K. フィルミックス」	澁谷治男氏 (プライミクス)
「ナノ粒子分散装置の開発とアプリケーションについて」	院去貢氏 (寿工業)
「名古屋のおいしい水」	杉本智美氏 (名古屋市下水道局)
「浄水器の最新技術」	上阪努氏 (東レ)
「天然水および物理的処理水の水の会合構造の評価」	近藤伸一氏 (岐阜薬科大学)
「新しい排水管理の手法ー日本版 W E T の提案ー」	鑪迫典久氏 (国立環境研究所)
「製造業の成長戦略ー化学物質管理のビジネス上の重要性ー」	遠藤智道氏 (社団法人産業環境管理協会)
「環境・技術コミュニケーション」	後藤尚弘氏 (豊橋技術科学大学)
「レアメタル・レアアースのリサイクルと国際資源問題」	伊藤秀章氏 (レアメタル資源再生技術研究会)
「泡沫での流れの制御によるレアメタルの高選択分離」	二井 晋氏 (名古屋大学)
「自動車触媒における希少元素代替材料技術」	高橋洋祐氏 (ノリタケカンパニーリミテド)
「産総研における新しい調光シートの開発-調光ミラーシートとサーモクロミックシート-」	吉村和記氏 ((独)産業技術研究所)
「ナノ多孔質シリカ粒子を用いた真空断熱材の開発」	井須紀文氏 ((株) L I X I L プロダクツカンパニー)
「熱から電気を効率良く取り出す夢のセラミックス」	河本邦仁氏 (名古屋大学)
「セラミックリアクターを活用した次世代電池の最新動向-リバーシブルセル技術を活用する鉄空気二次電池-」	藤代芳伸氏 (産業技術総合研究所)
「電力貯蔵用 NAS 電池の実用化例と将来展望」	玉越富夫氏 (日本ガイシ)
「トヨタにおける HV/PHV 用二次電池の取り組み」	中西真二氏 (トヨタ自動車)
「車載パワーデバイスの放熱信頼性向上とその動向」	神谷 有弘氏 (デンソー)
「パワーデバイス用 SiC ウェハ技術開発の最新動向」	加藤 智久氏 (産業技術総合研究所)
「パワー半導体モジュールの最新技術 ~高耐熱化、高放熱化、高信頼性化~」	高橋 良和氏 (富士電機)